

本時のねらい

卓球における自分の動きを互いに分析し、より良い動きやプレーにつなげるために、どのようにすれば良いかを助言することができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・タブレット PC のカメラ機能を活用して、ラリーの様子を動画に撮影する。撮影した動画を確認しながら、話し合うことで、話し合いの質を高める。
- ・ラリーを続けるために必要な技術である、「視線の方向」や「ラケット・手首の角度」、「打球」など、動画を確認しながら的確なアドバイスができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・カメラ機能（動画撮影）
- ・大型テレビ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを確認し、学習の見通しを持つ。 ○卓球教室や用具を利用する際の注意点を確認する。 	
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ラリーを行い、待っている生徒は、カメラで動画撮影を行う。 ○自分の動きを分析して、ラリーを続けるための工夫や改善点について話し合う。 ○見つけた工夫や改善点を意識してラリーを行う。 ○スマッシュについて説明を聞き、練習する。待っている生徒は、動画撮影を行う。 ○スマッシュインの確率を高めるための工夫について、動画を確認しながら工夫や改善点について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影する生徒に、次の3つの視点に注意して撮影を行うよう伝える。(①視線の方向 ②ラケットや手首の傾き ③打球) ・動画を見返しながら話し合うことで、大切な部分で動画を一時停止したり、コマ送りで再生できたりすることができる。 ・工夫や改善点について話し合いを行う際は、動画を見せながら具体的な話し合いを行うよう促す。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のねらいについて、できるようになるために意識したことや、頑張りたいことについて、個人で考えた後、ペアで話し合う。 ○話し合った内容を全員で共有する。 	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1：ラリーの様子について、3つの視点に注意しながら撮影している場面



写真2：スマッシュ練習の様子を撮影している場面



写真3：撮影した動画を視聴し、工夫や改善点について話し合っている場面

児童生徒の反応や変容

- ・ランダムに打ち合っていた時の動画と、狙ったところに打つ練習をしていた時の動画を比較し、工夫や改善点について話し合うことで多くの生徒が、その後のラリーをより長く続けることができるようになった。
- ・動画を確認しながら話し合いを行うことで、アドバイスがよりの確になり、話し合いの質が向上した。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

以前は、ラリーを続けるために、相手のどこにどのような球を返せば良いかわからず、一方的に強い球を打ち込む場面が多くみられた。ラリーを続けるという課題を解決するために、自分自身の動きや様子を動画で確認することで、自分の動きを俯瞰的に捉え、ラリーを続けるために必要な工夫や改善点について考えることができた。また、自分の動きについて、色々な意見を取り入れることで、新たな気づきや発見をした生徒もおり、仲間と協力してプレーを向上させることができた姿が多くみられた。